

別紙 20

【薬効分類】 625 抗ウイルス剤

【医薬品名】 ドルテグラビルナトリウム・リルピビルン塩酸塩

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行			改訂案		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） リファンピシン、カルバマゼピン、フェニトイン、ホスフェニトインナトリウム水和物、フェノバルビタール、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品、アパルタミド、エンザルタミド、デキサメタゾン（全身投与）（単回投与を除く）、プロトンポンプ阻害剤（オメプラゾール、ランソプラゾール、ラベプラゾールナトリウム、エソメプラゾールマグネシウム水和物、ボノプラザンフマル酸塩）を投与中の患者			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） リファンピシン、カルバマゼピン、フェニトイン、ホスフェニトインナトリウム水和物、フェノバルビタール、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品、アパルタミド、エンザルタミド、 <u>イボシデニブ、エンコラフェニブ、ミトタン</u> 、デキサメタゾン（全身投与）（単回投与を除く）、プロトンポンプ阻害剤（オメプラゾール、ランソプラゾール、ラベプラゾールナトリウム、エソメプラゾールマグネシウム水和物、ボノプラザンフマル酸塩）を投与中の患者		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
アパルタミド エンザルタミド	リルピビルンの血中濃度が低下し、本剤の効果が減弱するおそれがある	これらの薬剤のCYP3A誘導作用により、リルピビルンの	アパルタミド エンザルタミド <u>イボシデニブ</u>	リルピビルンの血中濃度が低下し、本剤の効果が減弱するおそれがある	これらの薬剤のCYP3A誘導作用により、リルピビルンの

	ある。	代謝が促進される。	<u>エンコラフェニブ</u> <u>ミトタン</u>	ある。	代謝が促進される。
--	-----	-----------	--------------------------------	-----	-----------